

鶴見川を歩く その2

開催日：2025年12月13日（土） 曇り 歩数：25000歩 距離：16km

出発：JR横浜線鴨居駅 10時

コース：鴨居駅（横浜市緑区）→鴨池人道橋→佐江戸おちあい公園（横浜市都筑区）→恩田川合流地点→千代人道橋→青砥公園→八和らぎ橋→学校橋→谷本公園^{（有）}（横浜市青葉区）（昼食）→谷本人道橋→市ヶ尾水辺の広場→常盤人道橋→寺家橋→麻生川合流地点→亀井橋→麻生橋→恩廻公園調整池管理棟^{（有）}（川崎市麻生区）→沢谷戸自然公園^{（有）}（町田市）→睦橋→（川井田人道橋）→鶴川駅前やすらぎ公園→小田急線鶴川駅（町田市）

参加者：熊坂L 山田SL 勅使河原 吉留 平石 斎藤優 清水 井内 市村 桑原 高橋友 脇坂 飯田 鹿島 山口 沼津 佐藤し 尾形 白田 稲葉 秋澤 鏡 浅山 計23名

「鶴見川を歩く」その2は、鴨居駅近くの鴨池人道橋から鶴川駅近くの川井田人道橋までのコース。曇り空でしたが昼頃には明るい陽射しが出る歩きやすい日和でした。橋をこれほど渡ったウォーキングは初めてです。私の記憶では10橋になります。①鴨池人道橋②千代人道橋③八和らぎ橋④学校橋⑤谷本人道橋⑥常盤人道橋⑦寺家橋⑧亀井橋⑨麻生橋⑩睦橋。渡らずに通過した橋は数知れず。16kmも歩いたので、多くの街を通過しました。私のメモでは横浜市緑区に始まり、都筑区、青葉区、川崎市麻生区、町田市と歩きました。恩廻公園調整池管理棟では、「大雨のときに鶴見川の水位が上がったとき、公園の地下のトンネルに水を貯めて洪水を防いでいる」ことを知り、川が私たちの生活と密接な関係にあるということを知りました。川辺には多くの生き物が生息していました。川に餌が豊富なのか、オオバン、アオサギ、ダイサギ、カモなど多くの鳥や鯉などを見ることができ自然満喫のウォーキングでした。



寺家橋

JR鴨居駅9時50分～鴨池人道橋～左岸河川敷

集合はJR鴨居駅、私が改札を出ると全員集合ということで、出発時間の10時より10分早くスタート。駅の階段を下りると曇り空、冷たい風が吹いています。鶴見川に架かる鴨池人道橋を渡り左岸へ。河川敷へ下りて熊坂リーダーのリードでストレッチ、最近加入された秋澤さん、鏡さん、浅山さんが紹介されました。鏡さんと浅山さんはやや健コース初デビュー、サブリーダーは地元の山田さん。コース説明を受けて、10時12分にスタート。堤を西方向に5分ほど進むと「河口から18.5km」の標柱を通過、左前方のビルの上に大山の稜線が見えました。河川敷のススキはすっかり枯れすすきとなっています。



河口から19.5km地点～10時35分佐江戸おちあい公園

二人の男性が堤の上からリモコンカーを操縦、河川敷の草が刈られた自前サーキットを車が疾走していました。堤の柿の木には、たわわに柿の実がなっています。河川敷では中学生ぐらいのチームが、バッティングマシンでバッティング練習中。10時31分、河口から19.5km地点を通過。落合橋下へ、大分汗ばんできました。堤へ上がって自動車道を横切り階段を上って10時35分、佐江戸おちあい公園へ入りました。この公園でも少年野球が行われていて、走塁の練習中でした。公園は高台で、眼下には鶴見川が見えます。ここから少し上流で、右が鶴見川本流で左から支流の恩田川が合流しています。



恩田川合流地点～千代人道橋～鶴見川右岸～11時13分青砥公園

公園を出て、再び鶴見川右岸の堤を上流へ。恩田川が鶴見川に合流する所に表示板が出ていて、河川敷にはススキ原が広がっています。千代人道橋を渡り右岸へ、下流へ少し戻り堤に下りて上流へ向かいます。千代人道橋、千代橋の下を通過。対岸の先に横浜市営地下鉄グリーンラインの車両基地があり、たくさんの車両が見えます。堤左側の民家の庭にコスモスと梅の花、季節が入り混じっているようです。11時13分、青砥公園へ到着、小休憩です。風はなく曇り空、歩いて来たので寒さはそれほど感じません。



八和らぎ橋～学校橋～11時55分谷本公園・昼食12時42分～谷本人道橋

公園を出て少し歩いたところに柿の自動販売機があり、何人かが購入していました。10分ほど歩いて八和らぎ橋を渡り左岸を北上。学校橋を渡り右岸に出て、東名高速道路のループ状になっている横浜青葉ジャンクションの下を通ります。11時55分、球技場でサッカーが行われている谷本公園へ入ります。所在地は横浜市青葉区下谷本町、レストハウス室内で昼食をとることになりました。テーブル席は私たちのグループで丁度満席、各テーブルとも会話が弾み楽しい昼食タイムとなりました。少し晴れ間が出た12時42分、午後のスタート。右岸を下流へ進み東急田園都市線のガード下を通過。谷本人道橋を渡り、左岸へ出ます。



鶴見川左岸～市ヶ尾水辺の広場～河口から26km地点通過

左岸を上流へ進みます。右手に青葉区区役所総合庁舎の建物、隣には青葉公会堂・青葉スポーツセンターの大きな建物、手前には青葉消防署が見えます。市ヶ尾水辺の広場へ、「ここで集合写真を撮影の予定でしたが、階段から直ぐに川だったので堤での写真撮影としました」（熊坂リーダー）。川面に口ばしが白く羽根が黒い鳥、どなたかが「オオバンだよ」と教えてくれました。河口から25.5km、26kmを通過しました。



市ヶ尾水辺の広場近くの鶴見川左岸



常盤人道橋を渡り右岸へ～寺家橋を渡り左岸へ～右岸にアオサギ

谷本公園を出て40分ほど、斉藤さんと井内さん、軽快な足取りですね。この辺り、左側は背丈の高い竹で水面は見えません。少し進むと右側に畑が開けてきました。鶴見川の肥沃な土で美味しい野菜ができそうです。常盤人道橋を渡り右岸へ出ます。左岸に煙突から白い煙をモクモクと上げている屋根の広い家、薪ストーブを焚いているのでしょうか。寺家橋を渡り左岸へ、橋を渡る第2グループをパチリ、最後尾の山田サブリーダーが手を挙げて応えてくれました。右岸にアオサギが、魚を狙っているのでしょうか片足立ちで水面をジッと見つめています。体幹抜群？ 鶴などもそうですが足の長い鳥はなぜ片足立ちなのでしょう。



麻生川の亀井橋～鶴見川の麻生橋～14時10分 恩廻公園調整池管理棟

電柱の住所表示は川崎市麻生区、ピンクのコスモスの花と黄色の柿の実の競演です。川の流れの合流地点へ、左が鶴見川、右側が麻生川。麻生川に架かる亀井橋、鶴見川に架かる麻生橋を渡り、鶴見川右岸に出て自動車道を歩いて行き14時10分、神奈川県恩廻公園調整池管理棟の建物に着きました。説明版に「大雨のときに鶴見川の水位が上がったとき、公園の地下のトンネルに水を貯める。調節容量は11万㎥」と書かれていました。鶴見川探訪マップがあり、マップ一番左にめざす鶴見川源流が記されています。



14時41分 沢谷戸自然公園正面入り口・紅葉～鶴見川右岸

恩廻公園を出て、鶴見川右岸をしばらく歩き、川を外れて住宅街に入り町田市立上三輪緑地の横を通ります。住宅街を抜けて沢谷戸自然公園の一番低いところから階段を上って高台へ、14時41分に沢谷戸自然公園正面入り口に到着。ベンチで小休憩、紅葉が陽に当たり色鮮やかでした。ここが最後の休憩、英気を養ってゴールの鶴見川駅をめざします。上って来た道を途中まで戻り、紅葉を楽しみ、鶴見川右岸に下りました。



睦橋～15時25分 鶴川駅前やすらぎ公園 歩数2万5000歩

川辺にはダイサギ、川面にはカモ、鶴見川は餌が豊富なのでしょうか、沢山の鳥を見かけます。道端に馬頭観音が祀られていました。睦橋を渡り15時25分、鶴川駅近くの「鶴川駅前やすらぎ公園」へ到着。早歩きで、歩いた歩いた。歩数2万5000歩、距離16km。熊坂さんのリードでクールダウンをしました。



(市村記)